








<b>ココヨ ワークヴィスタ 両面タイプ</b> (色や形状等の違いがありますが、手順は同じです。)	商品サイズ	W 3300	D 1400 mm
	備考	使用工具:5mm六角レンチ	

	
<p><b>1</b></p> <p>はじめにフレーム本体を作ります。</p>	<p><b>2</b></p> <p>エンド脚に中央梁Wお付ける前に、エンド脚・中央梁固定金具をエンド脚に付けます。エンド脚の内側奥の溝に、金具のツメを入れて付けます。</p>
	
<p><b>3</b></p> <p>金具が内側に折れて、中央梁と固定できる状態にします。(画像は金具を付けた状態です。)</p>	<p><b>4</b></p> <p>次に中央ダクト梁とエンド脚を連結します。中央ダクト梁の端の4か所の切り欠きにエンド脚のツメを差し込むようにまっすぐ取付けます。(中央梁のエンドカバーは外してあります。脚取付後に、エンドカバーを付けて下さい。)</p>
	
<p><b>5</b></p> <p>3で付けたエンド脚・中央梁固定金具のビス穴と中央梁のビス穴を合わせてM6×15mm キャップスクリューで固定します。脚取付後に、エンドカバーを付けて下さい。</p>	<p><b>6</b></p> <p>次に中間脚と中央ダクト梁を取付けます。まず中梁の側面に、エンドカバーを付けます。それから中央ダクトの端の外側の切り欠きに中間脚の内側のツメを差し込むように取付けます。</p>
	
<p><b>7</b></p> <p>画像のように中間脚のツメが片方残ります。(この商品には、画像の黒いダクトは付いていません。)</p>	<p><b>8</b></p> <p>残ったツメにもう一つの中央ダクト梁を取付けます。</p>

	商品サイズ	
	備考	



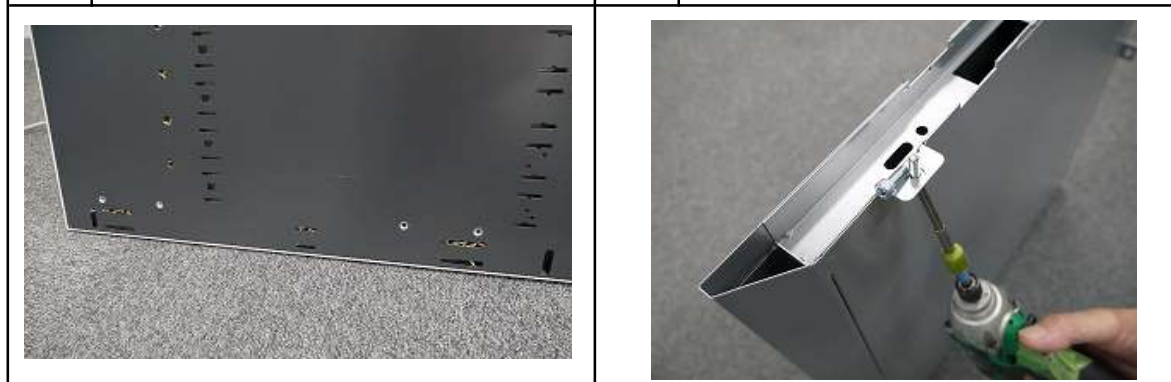
<b>9</b>	同様の手順で中間脚と反対側のエンド脚を取付けていきます。	<b>10</b>	フレームが出来たら、次にW2000天板用の中央梁の中間部に、配線トレー(スチール製)と配線カバー受けを付けていきます。
----------	------------------------------	-----------	---





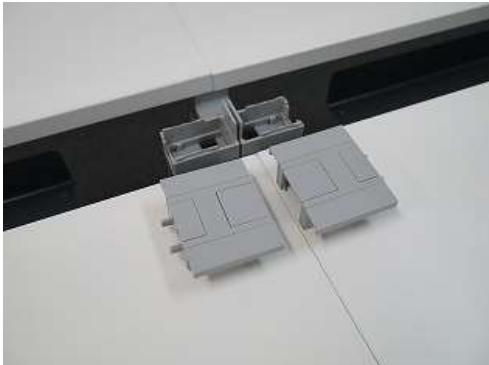




<b>11</b>	はじめに配線トレー受けを置き、その上に配線カバー受けをのせます。梁上部のビス穴を合わせて、M6×15mm キャップスクリューで固定します。(4か所、ワッシャーは付けません。)	<b>12</b>	取り付け後の画像です。
-----------	---	-----------	-------------



<b>13</b>	次に配線トレー(プラスチック製)を梁に付けます。	<b>14</b>	配線トレーの裏側の溝を、梁上部に差し込むように付けていきます。(W2000天板用梁は、配線トレー(スチール製)の横に、等間隔に付けて下さい。)
-----------	--------------------------	-----------	---



<b>15</b>	次に天板をフレームの背固定します。天板の端にある縦の切り欠きにエンド脚。中間脚上部にあるツメを差し込むようにして載せていきます。	<b>16</b>	エンド脚は天板のビス穴と合わせてM6×15のワッシャー付きのビスで固定します。
-----------	--	-----------	---

コクヨ ワークヴィスタ 両面タイプ(色や形状等の違いがあ		商品サイズ	
		備考	
			
17	中間脚と天板は、中間脚の先にある六角ポルトを時計回りに少しづつ締めていくことで固定されます。	18	固定後、中間脚キャップカバーを付けて下さい。
			
19	天板を取付け後、中間用配線カバー受けを画像のように取付けます。(向きに注意して下さい。)	20	エンド脚側も同様に取付けます。
			
21	次に配線カバーを付けていきます。まず配線カバー受けのキャップカバーを外します。配線カバーの端のツメを、配線受けの溝に置くようにして付けます。	22	配線カバーを付けたら、キャップカバーを再度付けて下さい。
			
23	これで完成です。	24	